

農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

イノシシとシカによる農作物被害に対応し、捕獲した鳥獣を資源として利活用を進めるため、公施設として平成29年に建設。高品質なジビエ肉生産のため技術向上と研鑽を重ね、令和3年度には国産ジビエ認証を取得し、「山都ブランドジビエ」の確立と、県内外への販路拡大を実施。

ジビエ工房やまと (山都町長：坂本 靖也)

主な取組

かみましきぐんやまとちょう
熊本県上益城郡山都町

- ジビエの販路拡大のため、令和2年度にオンラインで販売できるECサイトを開設。国産ジビエ認証やHACCPの導入により安全性を確保するとともに、顧客からの要望に応えられるよう情報交換を密にして商品価値の向上に取り組んでいる。
- 県内のジビエ処理施設や行政機関等で構成される「くまもとジビエコンソーシアム」が主催する衛生・技術向上研修等に積極的に参加し、技術習得や情報収集を積極的に行い、常に加工処理技術の向上に努めている。
- 地域のイベントに参加する際は、ただ商品を販売するだけでなく、鳥獣被害の現状や課題を理解し、ジビエを美味しく食べることが被害防止対策につながるることについて、地域住民に対して啓発を行っている。また、「くまもとジビエコンソーシアム」と連携し、消費地での販売・商談会にも積極的に参加し、都市部の住民にも鳥獣被害の現状や中山間地域の課題、ジビエの可能性について情報発信。

【捕獲鳥獣利活用の頭数の推移（山都町）】

イノシシ：147頭（平成29年度）→272頭（令和5年度）

シカ：182頭（平成29年度）→525頭（令和5年度）